

2023年度（令和5年度）ああるまつりかフラワー

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表:6年3月1日

事業所名 あある まつりかフラワー

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		体を動かせるようなスペースを確保するようにしています。	活動スペースは広いと言えないので児童同士が接触しないよう安全面をより一層心掛けていきます。
	2	職員の配置数は適切である	1	3	1	求人募集。 他の事業所と連携。	常に求人募集していたり、他事業所と連携をとりながら協力しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3			段差はあまりないが、車いすが通れるような道幅がないため工夫して通れるような配慮を考えます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3		上半期、下半期にて目標をたてている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		年に一度行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		公開しています	保護者の方にあまり周知されていないので公開された際に口頭やお知らせにて通知できるようにする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3			
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		虐待防止等の研修は行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		半年ごと面談を行っている。	半年ごとに面談を実施し計画作成の際に今課題にしている事等のニーズに答えていけるよう努力していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	4		アセスメントシートなどを活用して行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		職員間で考えたり、共有を毎日行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			なるべく同じものは避けて行っている。	同じように行わないようにしているが同じものを日をあけて行うこともあるので工夫して行くようにする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2			平日は下校時間等で外に行ける機会が少ないので休日、長期休暇には外に行くよう心掛けている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	3		1人1人に合うように配慮している。	1人1人配慮しているが、まだまだ出来ていないと思っているのでこれからも気をつけながら配慮していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		1	昼礼を行い共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	1		全員で振り返りする機会が少ないので毎日できるよう少しずつ増やしていけるよう努力します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		記録は毎日個人のファイルにて記入しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	3	1			

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	4			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1	各学校保護者の方からスケジュール等いただき把握しています。	学校から協力していただける場所としていただけない場所があるので漏れがないようにしていきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	1		現状は非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5		入所時に必ず確認実施	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		必要があれば対応いたします。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	3		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		連絡帳や送迎時に共通理解できるように行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2		契約時実施しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		その都度対応できるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			迅速に対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1			ブログは月に2回アップロードしているが会報等は発行していないのが現状です。
	35	個人情報に十分注意している	4	1			個人情報等は十分注意して保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1			意思の疎通や情報伝達等の配慮は行っています。

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3		定期的に共有を行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		2		防災頭巾、職員の様のヘルメット等を備え近くの学校に避難できるように備えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			年度の初めに研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		身体拘束するような児童は通っていませんが基本的には身体拘束は行いません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			アレルギー等ある児童は事前に保護者の方から確認、職員間で共有を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3			ちょっとしたことでも行うようにしているが出来ていないこともあるため徹底できるよう注意していきます。